

空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会 第10回障がい者競技大会開催



2020年東京オリンピック・パラリンピックでの空手道の正式種目化実現を目標に、空手道関係者によって組織した会です。国内外を問わず広く一般社会に向けて、空手道の魅力、ニュース、インフォメーションを発信するとともに、空手道関係者へのフィードバックを通してオリンピックへの意識を高めることを目的とします。

Latest News

第10回を迎えた障がい者競技大会

全日本空手道連盟では2005年より、ハンディキャップを持つ空手道愛好家を対象とした全日本障がい者空手道選手権大会を、毎年開催しています。

本年、記念すべき第10回大会を、10月4日に東京武道館において開催しました。

「基本錬成」と「競技」の2部構成

この大会では、午前中に参加者全員で合同稽古を行なって汗を流し、午後より競技を実施しています。

競技は、車いすの部、聴覚障がいの部など、障がいの種類によって細かく種目を分け、全日本空手道連盟

競技規定に則って行なわれます。

本年は、日本全国から84名、延べ149名の出場者が集まり、白熱した闘いを繰り広げました。障がい者空手道がさかんで、都道府県単位で競技大会を開いたり、合同練習を企画している地域もあります。

また、障がい者空手道は世界中に広がりを見せており、2012年の世界大会（フランス）では、2万人の観客を前に視覚障がいのある男性が「形」のデモンストレーションをし、会場を多に盛り上げました。

2020年パラリンピック東京大会で空手道競技が正式種目となれば、障がい者スポーツがさらなる発展を見せることでしょう。